



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年12月10日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

大病を乗り越え 俳優・佐野史郎さん

12月10日(日)＝1、3面

迫る



俳優の佐野史郎さん(68)＝写真＝は、血液のがんの一種、多発性骨髄腫を患いました。2021年のことでした。入院当初は改善の兆しを見せていましたが、細菌に感染して敗血症になってしまいました。高熱が続いた時期があり「一時、死を覚悟しました」と明かします。

闘病生活は病院の個室。小さなギターを持ち込んで、ミュージシャンでもある佐野さんは新曲をつくりました。タイトルは「まどのそと」。

病室の外に出られない気持ちを込めた曲で、歌詞には「ふわりふわふわ」とあります。「病室にいた自分の状態を表現したのかもしれない」と語りました。

大病を乗り越え、復帰。23日から「新宿K's cinema」(東京都新宿区)を皮切りに全国で上映される映画「火だるま槐多(かいた)よ」にも出演しました。役柄を演じる上で大事にしていることは？

ベテラン俳優の視線に迫ります。



ハチ公 生誕100年の歩み 12月10日(日)＝総合面

渋谷駅(東京都渋谷区)の前にある「忠犬ハチ公像」は、各地から集まる大勢の人たちが待ち合わせ場所に使ったり、記念撮影をしたりします。そのモデルとなった秋田犬、ハチが今年11月に生

誕から100年を迎えました。亡くなったある日の帰りを待ち続けたハチは、新聞記事をきっかけに一躍有名になりました。今ある銅像は2代目。ハチとハチ公像が紡ぐ100年の歩みをたどります。



現在のハチ公像。毎日触られて前足がピカピカに。東京都渋谷区の前



論点

美術品の保存

全国でも課題

12月15日(金) Ⅱオピニオン面

大阪府が美術作品105点を庁舎の地下駐車場に保管していた問題が毎日新聞の報道で明らかになりました。実は、全国の美術館も収蔵庫が満杯になったり、収集の予算がつかなくなったりと「曲がり角」

にあります。大切なコレクションを守り、将来に残すにはどうすればよいのでしょうか。美術の専門家たちが作品の見せ方、デジタル化、発信の仕方などを提案します。

特集 **ワイド**

動物写真家が見るクマ大暴れ

12月12日(火)＝夕刊2面



北海道でヒグマ、東北各地でツキノワグマの被害が相次いでいます。自治体は駆除を進めている一方、保護する立場から苦情も相次いでいると言います。世界では、自然界に生息するクマとどう向き合っているのでしょうか。北海道を拠点に世界各国でクマなどの野生動物を撮影している自然写真家の林祐介さん＝写真＝に聞きました。

竹橋の窓辺から

編集後記



「毎日新聞」ご愛読ありがとうございます。12月12日の締め切りが12月11日の夕方になりました。対象条件を満たしたお申し込みの方全員にAmazonギフトカード1000円分をプレゼントするキャンペーンです。たくさんの方に申し込んでいただいておりますが、まだの方はぜひお申し込みください。詳細はQRからご覧いただけます。引き続き、毎日新聞のご愛読をよろしくお願いたします。(宮澤暁子)



毎日新聞